

製品仕様

1. 仕様諸元

| 項目 | 仕様 | 項目 | 仕様 |
|-------------------|-----------------------|-------------------|--|
| Bluetooth仕様 | Version 4.1+EDR | 製品寸法・重量 | 本体: H16× W52× D58mm スピーカー: H62× W75× D79mm |
| Bluetooth対応プロファイル | HSP, HFP, A2DP, AVRCP | (本体+ケーブル+スピーカーのみ) | |
| Bluetooth無線周波数 | 2.4 GHz スペクトラム | Bluetooth無線周波数 | 約290g |
| 使用可能距離 | 見通し 10 m | マルチペアリング | ○ (8台まで対応) |
| 消費電力 | 最大時 16W(USB充電時含む) | 接続機器表示名 | BT900 |
| 変調周波数特性 | 20~15000Hz | バスキーコード | 0000 (ゼロを4つ) |
| SNレシオ | 50dB以上 | 電源端子 | USB TYPE-Aプラグ |
| | | DC充電器USB出力電力 | 2ポート 合計4A |
| | | ケーブル長 | 約1m(分岐一本体) 約1m(分岐+USB-Aプラグ) 約2m(分岐+スピーカーL) 約2m(スピーカーL+スピーカーR) |
| | | 規格 | 電波法2.4GHz帯工事設計認証 |

2. 主要操作一覧

＜主なLEDインジケータの状況表示 (Bluetoothのインジケータ)＞

| | 青点灯継続 | 5秒に2回 青点滅が継続 | 青速く 点滅 | 赤・青 交互点滅 | 赤5回点滅 | 青高周点滅 継続 |
|-----|-------|-----------------|-----------|-------------|---------|-------------|
| 接続中 | 未接続 | 未接続 | 確認サイン | ペアリングモード | リセット 完了 | 着信中 |

＜主な操作、電子音、LEDのはたらき＞

| 機能、状態 | 操作もしくは操作の結果 | LED表示 | 電子音 |
|------------------|-----------------------------|-------------|---------|
| 電源 ON | 通電開始直後 | 青2~3回以上連続点滅 | *ピポピポ* |
| ペアリングモード | 自動もしくは手動でペアリングモード | 赤 / 青交互点滅 | *ピポ* |
| ペアリング失敗 | 3分以内にペアリングが成功しない | 青2回連続点滅 | *ポー* |
| ペアリング完了 | ペアリング (機種登録) が成功 | 青2回連続点滅 | *ピポ* |
| 接続 | 登録機種と接続した時 | 青2回連続点滅 | *ピポ* |
| 待受け待機中 | ペアリング済み機器と接続中 | 青点灯継続 | — |
| 接続している端末がない | ペアリングが失敗した時、接続解除後 | 青5秒ごとに2回点滅 | — |
| 接続解除 | 接続切断時や Bluetooth 機能切の時 | 青2回連続点滅 | *ポー* |
| 通話音量調節 | 「<」で下がる、「>」で上がる | 青2回連続点滅 | — |
| 音楽再生 / 一時停止 | 待受け時、メインスイッチを1回押す | — | — |
| リダイヤル | 待受け時、メインスイッチを短く2回押す | 5秒間隔 2回点滅 | — |
| Siri 起動 (iPhone) | 待受け時、メインスイッチを2秒長押し | — | *ポ* |
| 着信 | 接続して待受け時に着信した時 | — | 呼び出し音 |
| 受話 | 着信時、メインスイッチを1回押す | — | *ポ* |
| 終話 | 通話中、メインスイッチを1回押す | — | *ポ* |
| 通話中接続切り替え | 通話中にメインスイッチを2秒押す | — | *ポー* |
| 着信拒否 | 着信時、メインスイッチを2秒押す | — | *ポー+ポ* |
| リセット | 電源 ON で「<」、「>」スイッチを同時に7秒間押す | 赤連続5回点滅 | *ポ・ポ・ポ* |

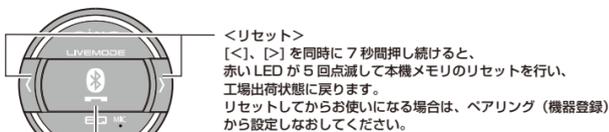
※上記は代表的な内容ですので、ご使用に差し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。
※上記の操作、動作、LEDの点灯、電子音の発生は全ての接続機器に反映されるわけではありません。
一部の機種では内容が変わる場合があります。
※HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。
携帯電話を通常操作でダイヤルし、その後、本製品での通話に切り替えてください。

本製品のご使用方法

1. ペアリング(機種登録)、接続試行、リセット操作 ※取扱説明書Aをご参照願います

■ペアリング(機種登録)モードや接続をする場合のスイッチ操作は以下の通りです。
■工場出荷時は電源を入れて20秒後(リセット時は直後)に自動的にペアリングモードになります。
※ペアリングや接続に関しては、別紙の取扱説明書Aと取扱説明書B(本書)の表面に詳しい記載をしております。必ずそちらもご覧になっていただき、ご使用願います。

| ペアリングモード (手動) | 電源が入っている状態で、メインスイッチを5秒間押す |
|---------------|---------------------------|
| リセット | 「<」と「>」の両方のスイッチを同時に7秒間押す |

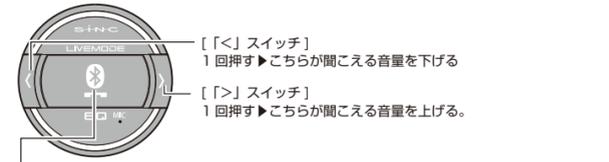


【メインスイッチ】
a. 電源入時、5秒間連続で押す▶ペアリング(機種登録)モードに移行
b. 接続機種と非接続時に1回押す▶ペアリングした機種との接続を試行します
c. iPhone(※一部例外あり)と接続時、2秒長押しして指を離すと▶[siri]が起動します。
※Androidでは一部の機種で「ボイスダイヤル」が起動します。
※電源オンの時にメインスイッチを約5秒間長押しすると、強制的にペアリングモードになり、携帯電話機のペアリング登録が外れ、再度ペアリング登録をする必要になる事があるので、ご注意ください。

2. ハンズフリー機能を使う

携帯電話機とつないでハンズフリー通話をする場合に使えるスイッチ操作は以下の通りです。

| 電話を受ける | 着信時、メインスイッチを1回押す |
|--------|--------------------------------|
| 電話をかける | 待ち受け時、携帯電話機側で発信操作を行う |
| 音量の調整 | 「< (音量下げる)」、「> (音量上げる)」スイッチを押す |



【メインスイッチ】
a. 着信時1回押す▶電話を受けます
b. 着信時2秒長押しする▶着信拒否
c. 通話時1回押す▶通話を終了します
d. 通話時2秒長押し▶携帯電話機への切り替え(もう一度2秒長押しして再接続)
e. 待受中短く2回連続で押す▶直前に掛けた電話番号に再発信(ラストナンバーダイヤル)

※携帯電話側で発信操作を行った後、一部の携帯電話では、本機にハンズフリー通話を受け渡する為に携帯電話側での操作が必要な場合があります。その場合は発信後に携帯電話で下記のような操作を行ってください。

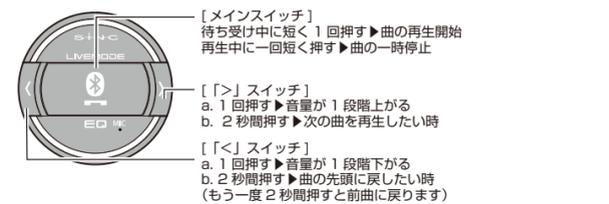
| 通信事業者/端末機種など | 操作もしくは操作の結果 |
|--------------------|--|
| iPhone | 初期設定は自動接続。手動では音声出力先の本機「BT900」を選びます |
| 主なAndroid | 初期設定は一部を除き自動接続。手動ではMenuで「Bluetooth」を選択 |
| Android (SHARPの一部) | Menuで「Bluetooth」を選択。端末のBluetooth設定で「常にハンズフリー」を選択すると、発信後、自動で本機に通話の受け渡しを行います |
| docomo 端末機種 | 携帯電話で発信後、「通話ボタン」を長押ししてください |
| au 端末機種 | 携帯電話で発信後、「EZ ボタン」を押してください |
| SoftBankの端末機種 | 携帯電話によって操作が異なります。端末の取扱説明書をご確認願います。 |

※上記はあくまで主な一例です。端末機種により、この上記の内容以外の方法もありますので、携帯電話の取扱説明書をご確認願います。

3. 音楽を聴く

①音楽再生可能な接続機種とつないで音楽を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※接続機種の音楽再生をする場合は、相手側にもA2DPが搭載され、本製品との間でA2DP接続している事が必要です。手動の接続が必要な場合がありますので、接続機種の取扱説明書をご確認願います。
※再生、一時停止、曲送り、曲戻しなどの操作を行う為には、接続機側にもAVRCP機能が必要です。
※音楽再生時、音量調節時の最大音量、最小音量になった時は、押す度にBeep音が鳴ってお知らせします。

| 音楽の再生開始 | 待ち受け時、メインスイッチを1回押す |
|---------|--------------------------------|
| 音楽の一時停止 | 音楽再生時、メインスイッチを1回押す |
| 音楽の曲戻し | 音楽再生時、「<」スイッチを2秒間押す |
| 音楽の曲送り | 音楽再生時、「>」スイッチを2秒間押す |
| 音量の調整 | 「< (音量下げる)」、「> (音量上げる)」スイッチを押す |



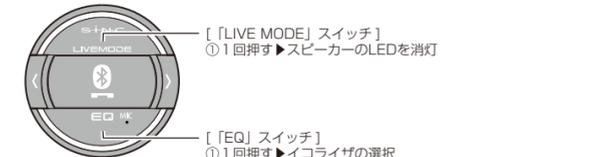
※オーディオ、ワンセグ再生時の音量操作は、携帯電話側の音量設定とリンクしません。本機からのオーディオ出力を調整する機能となります。本機の音量調整と携帯電話の音量調整、カーオーディオの音量調整の3つで最適な音質・音量になるよう調整してください。(ハンズフリー通話の音量操作は携帯電話機側の音量設定とリンクします)。

4. イコライザを使用する、スピーカーのLEDを消灯する

■イコライザを動作させるスイッチ操作は以下の通りです。

| 「EQ」スイッチを一回短く押すことに下記のように動作します。 | | | | | | |
|--------------------------------|---|-------------------|---|--------------------|---|--------------------|
| ①LED無点灯 ノーマルモード | ▶ | ②LED青点灯 重低音モード | ▶ | ③LED赤点灯 高音重視モード | ▶ | ④LED緑点灯 ボーカルモード |

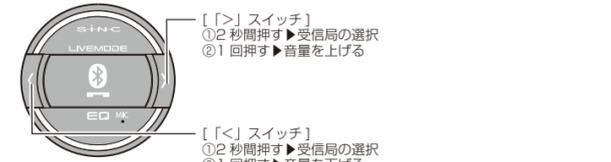
※再生する音源によっては効果が得られない場合もございます。
※動作させるイコライザによって、スピーカーのLED点滅が変化する場合もございます。
■「LIVE MODE」のスイッチを1回短く押すとスピーカーのLEDを消灯できます。
もう一度短く押すことで点灯が再開されます。
※スピーカーのLEDは低音に反応して点灯する設計になっております。楽曲の種類や音量が小さい場合、効果が得られない場合もございます。



5. ワンセグを試聴する

①ワンセグ試聴が可能な機種とつないで音声を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※本機はSCMS-T方式で保護された音楽やワンセグ放送の音声に対応しています。以下の操作を行う場合は、接続機器側もA2DP、AVRCPが対応して接続しており、SCMS-T方式にも対応していることが必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認願います。

| 音声の再生開始 | ワンセグソフトを携帯電話機側で起動 |
|-----------------|--------------------------------|
| チャンネルの選択 | 「<」、「>」スイッチをそれぞれ2秒間押す |
| 音量の調整 (音楽再生と同じ) | 「< (音量下げる)」、「> (音量上げる)」スイッチを押す |



6. その他(通信範囲から逸脱した後の接続状況)

①接続中の携帯電話が機器の通信範囲(約10m)から離れた場合、Beep音が鳴って警告し、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試行します。
②10m以内に戻っても自動接続しない場合は、メインスイッチを1回押すと再接続を試みます。
③10m以上離れたまま接続が切れて戻らない場合は、10m以内に戻ってから携帯電話機側の操作で再接続を行ってください。
④携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、電源メインスイッチを1回押すと手動で再接続を試みます。

7. DC充電器からUSBケーブルで機器を充電する

■DCプラグはUSB TYPE-A 2ポートを備えていますので、空いているもう片方のポートにUSBケーブルをつないでいる充電が可能で上下合わせて最大4A出力です。
※プラグケーブル脱着の際は、プラグ根元を持って、まっすぐにゆっくりと挿して(引き抜いて)ください。

取り扱い上の注意

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
●警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切の責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を、
❗ してはいけない禁止事項を示します。
❗ 必ず実行していただく指示となります。

●車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。また、工事現場の近く、駅のホームなどの交通機関など、危険な場所では本製品のご使用を中止してください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱い、充電ケーブルの抜き差し、DC充電器の操作も運転操作の妨げになりますので、ご注意ください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐停車してからおこなってください。

●本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
水分にさらされた内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に端子やポート内が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

●分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、DC充電器を分解・切断しての直接配線、傷がついた状態でのご使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因となるので、絶対にやめてください。

●付属のDCプラグは、DC12/24Vのマイナスアース車で使用してください。
指定外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。
付属のDC充電器は自動車用です。お車のアクセサリケーブル/電圧以外のご使用はおやめください。
また、DC充電器をご使用する時は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

●小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源をお切りください。

●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

●お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因となります。

●本製品の使用温度は0~40℃、保管温度は-20~60℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●クリーニングするときにアルコールや研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。
傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。

●DCプラグのヒューズが破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。

●DCプラグの接続は確実におこなってください。
使用される前に、DC充電器がお車のアクセサリケーブルに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも自動に切り込み充電器が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、DCプラグやお車のヒューズ、アクセサリケーブル破損の原因になります。

●付属しているDCプラグ以外で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

困った時は・・・

●故障かな?と思ったら、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法
■携帯電話で検索(サーチ)しても本機の名「BT900」が表示されない
■ペアリングは完了したが接続できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。
①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。※リセットをするのとより確実です。
②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BT900」を削除し、再度ペアリングしてください。
それでも解消されない場合は、リセットをお試しください。

症状や疑問点 確認していただくこと
電源をオンにならない 本機のDCプラグか車のヒューズが切れている場合があります。
電源をオンにするとき赤/青交互点滅になる 本機がどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後)では、電源をオンにするとき赤/青交互点滅になります。2秒後に自動的にペアリングモードになります(リセット直後はすぐにペアリングモード)。ペアリングモードにならない 周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所でも再度お試しください。携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。

バスキー(PIN)がわからない 本製品のバスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。
通話、受信ができない 携帯電話の電源とBluetooth機能がオフになっていませんか?HFPで接続がされているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。一部の携帯電話機(SHARP製など)では通信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定になっている場合があります。携帯電話機の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にしてください。着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押すすぐに離してください。

通話中にノイズが聞こえる 携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また、他の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の電波が弱く、音質が悪い場合があります。また、電波状態が悪い場所では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電線を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。携帯電話をスポンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。

自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周囲の電波を発する機材が近くにあり、工業設備、アンテナ施設などが近くで稼働している場合は、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。また、ケーブルに傷が付いたり、極端に曲がった状態になっていないかご確認ください。

音が聞こえない 携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。通話中にメインスイッチを2秒間長押しすると、通話が携帯電話に切り替わり、スピーカーから音声がかえらなくなります。その後の通話及び操作は携帯電話で行ってください。
本機の操作で発信ダイヤルできない 本機で可能な発信番号は、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号)のリダイヤルのみとなります※メインスイッチ2回押すと自動発信。

リダイヤルできない HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作でダイヤルしてください。HSP(ヘッドセットプロファイル)で接続している可能性があります。

使用中に電源が切れる DCプラグやUSBプラグが緩んでいないか確認してください。

ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

ワンセグの音声や音楽が聞こえない 本製品はペアリング後、長期間使用していない場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。

ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

パソコンと接続したい パソコン側のBluetooth機器がHSP(ヘッドセットプロファイル)に対応していないと接続のご使用は可能ですが、相互接続はOSやソフトウェアなどの互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。

LINEや動画のサイトの音声がかえらない 携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様にも依存するため、今迄使えたものがアップデートやアップデーにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。

DCプラグが破損・紛失した 保証期間内の初期不具合に限りは修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代金商品の提供などはできませんのでご了承ください。また、同梱品以外のDCやAC充電器、二次電池充電器をご使用になった場合の故障、不具合に関しては、当社では一切の責任を負えない事をご了承願います。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。